

新提案「a-f-n-e-t」

営業活動の生産性向上と販促効率化

**営業にイノベーションを
もたらす次世代型システム**



式典当日の「a l f - n e t」発表では多くの式典参加者が営業の在り方を大きく変えるだろう新たなITツールの登場に关心を寄せていた

**情報の一元管理で
利便性を突き詰める**

アルフレッサヘルズ 向上を目的とした新情報を
ケアが開発した次世代型 システムだ。
ITツール「a1f-n e-t（アルフネット）」 同システムは、同社情
報配信システム「RSSタッチ」と、同社カスタマーポータルサイト「CS
eye」のメリットを兼ねたものだ。
化し、営業活動の生産性 向上・効率化や、取引の ある得意先企業の利便性
「RSSタッチ」は自社

どが、それぞれ「一目で分かるように整理され、表示されている。」
ユーチャーは欲しい情報「をいつでも、どこでも手に入れることができるようにになっているのだ。」
「新製品情報」や「メーカーからのお知らせ」は、メーカーの動向がいち早く掲載されるため、商談の際の貴重な情報ツールとなる。「トレンド」は、販促カレンダーとしても活用でき、タイミングを逸すことができない。

「コンテンツ・機能が一元管理され、一つのサイトに凝縮されたシステム」こそ、「alpha-net」である。

同システムは、パソコンするのによつて、スマートフォン（スマホ）などのタブレット（アンドロイド）に情報を軽く手軽に端末でも、使用が可能となつてゐる。

そのため、MSは、外でも、各種情報がいつでも、最新まで、必要な情報を収集することができる。また、スマホで同システムを利用することで、発注製品の選択や、得意先企業にとつては、大きなメリットがある。

注のタブレット端末を用いて、同社MS向けの
とができ、より確実な製品発注につながる。
高談 同システムの画面を見
てみると、パソコン版とタブレット端末版で画面
こと レイアウトが違うことに気付く。
ラ みで 実はこれも、システム開発におけるいたわりの
こと 一つ。
と 得意先企業向けのパソコン用画面とタブレット
発 品発注用画面でそれぞれつくりを変えているのだ。
端末用画面でそれぞれつくりを変えているのだ。
得意先企業向けの画面は、製品発注がメイン、
同社MS向けは、市場動向や展開事例が大きく表
示されている。

どが、それぞれ一目で分かるように整理され、表示されている。

ユーチャーは欲しい情報をいつでも、どこでも手に入れることができるようになっているのだ。

「新製品情報」や「メーカーからのお知らせ」は、メーカーの動向がいち早く掲載されるため、商談の際の貴重な情報ツールとなる。

「トレンド」は、販促カレンダーとしても活用でき、タイミングを逸することなく販促をかけるのに役立つ。

またシステム内では、新着製品情報などに関する動画再生も可能だ。新着情報の一覧では、情報のアイコンがコンテンツごとに色分けされており、どの情報がどの「コンテンツに属するのかも一目りょう然。情報を素早く的確に入手する」とができる。

そしてもちろん、製品の発注も可能だ。画面上にあるメーカーのバナーをクリックすれば、発注画面に移動する仕組みも備えている。

こうした特徴的な各種コンテンツ・機能が一元管理され、一つのサイトに凝縮されたシステムこそ、「a-fine」なのである。

最新情報を提供するメーカーと、それを欲する得意先企業が、同システムを介して素早く結び付くことができるのだ。

ユーチャーの使い勝手を
最優先に考えて開発した
結果といえる。

おかげさまで5周年記念式典

PDCAを基本にストアコンパリゾン・成功事例の水平展開で カテゴリーマネジメントの構築、カテゴリーリーダーを目指す

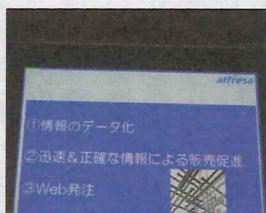


メーカー・物流・システム・金融など関係社253社から
510人が参集し、満席となった会場（経団連会館）



アルフレッサHD石黒傳六社長（右）と卸の厳しい現況を説き、返品率削減への協力を呼び掛けたアルフレッサHC勝木尚社長（中央）。メーカーのものづくりの思いを店頭まで届けたいと語ったアルフレッサHC原哲也取締役（左）

ノティオ安藤恵吾社長による「これまでの流れ」
と題した特別講演も行われ、マネジメント提案の重要性が語られた



アルフレッサHC仕入販売促進本部事業開発部宮川隆氏から製品の情報や市場データを網羅した次世代型販促システム「alf-net（アルフネット）」が華々しく発表された

懇親会



来賓祝辞を述べたロート製薬山田邦雄会長（右）、明治川村和夫社長（中央）による乾杯の発声で和やかにスタートした。中綴めを務めた山本漢方製薬山本整社長（左）

式典に引き続いて行われた懇親会でアルフレッサHC長谷部省三会長（アルフレッサHD副社長、左上）は、取り巻く厳しい現況に対して「克服し打ち勝つ」と力強く表明し、一時も皆さまに対し「おかげさまです」という気持ちを忘ることないと謝辞を述べた

次世代型ITツール投入し卸機能の一層強化へ